

クラシックカーを
愛する人へ

2009年12月1日発行(隔月寄数月1日発行・隔月寄数月1日発行)第22巻6号
平成10年6月4日第3種郵便物認可

Nostalgic Hero

Impressive Classic Car Magazine

ノスタルジックヒーロー

2009 Dec.

12

Vol. 136

唯一無二の
フェアレディZ

TOP ARTICLE ● 特集

フェアレディZ-L/Z432-R/Z432レーシング/240ZG改LYエンジン搭載車/BRE Baja 240Z



ドイツに渡った
コスモスポーツ

Twiggyの愛した
トヨタ2000GT

サニー・エクセレント・
レーシング ホンダN360
復活大作戦

DRIVER

高橋国光

話題のデモカーやレストア車を通して、旧車の最前線を紹介するこのコーナー。すでにおなじみのロッキーオートが「大人が安全に楽しめる」をコンセプトに、ラック&ピニオンのパワーステを装備する新たなハコスカを生み出した。注目のチューニング内容を紹介しよう。

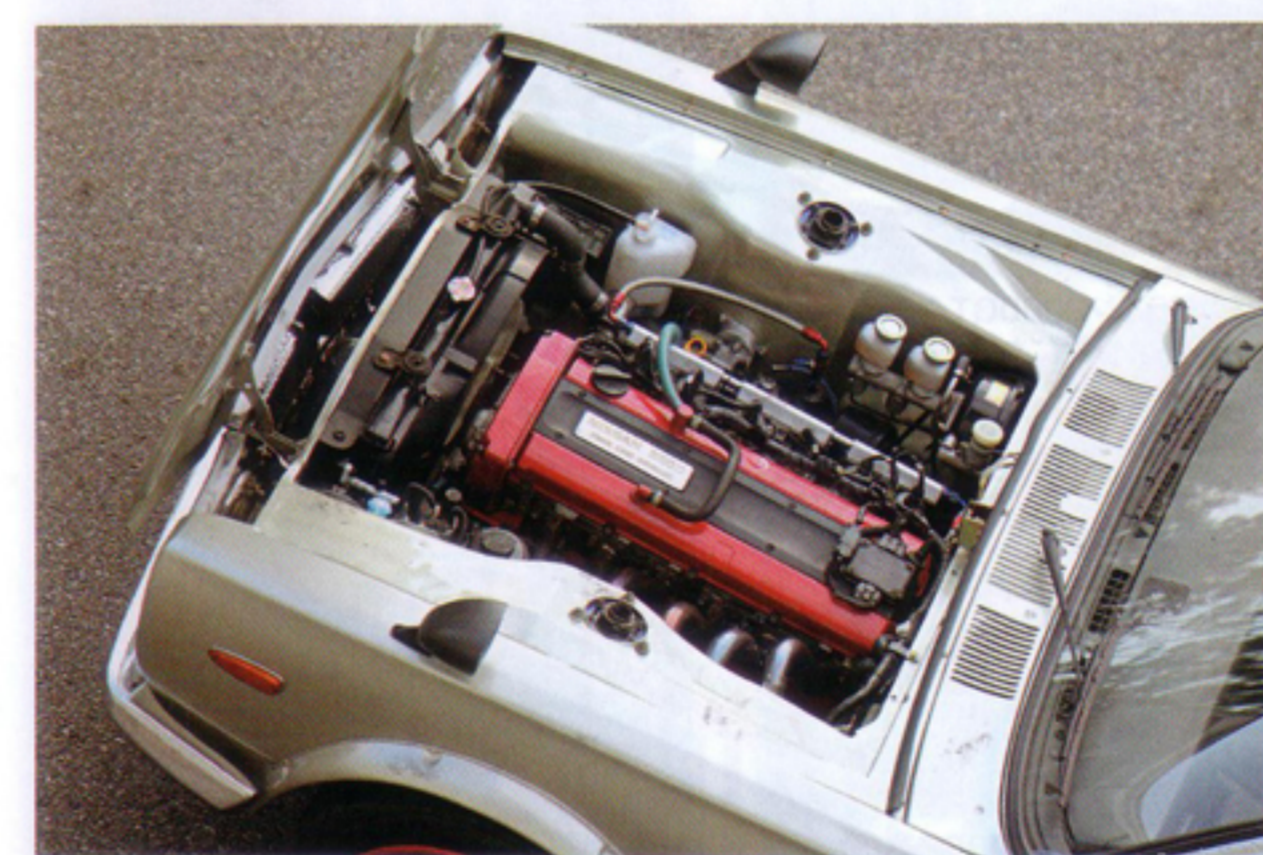


SKYLINE HT 2000GT RB26 produced by ROCKY AUTO

見た目は古いが中身は最先端!

TUNING DATA

エンジン ● RB25DE型改2.6ℓ (TWMφ50mm6連スロットルバルブ・スポーツインジェクション、RB26ピストン・クランクシャフト・コンロッド、東名270カムシャフト・ソリッドリフター・バルブスプリング・タイミングギア・ヘッドガスケット、FコンVプロ他)
 排気系 ● 特注等長タコ足+φ60mmステンレス製デュアルマフラー
 足回り ● フロント・S14用ティン車高調キット、リア・エナペタルショート加工ダンパー、前後arc中空スタビライザー、調整式ピロテンションロッド
 ブレーキ ● フロント・R32タイプM用4ポットキャリパー+ローター、リア・S13用ディスク



2.6ℓ300ps程度にチューンされたRB25DE型は、純正より低くキャン寄り搭載位置を変更している。シャシーの強化と同時に、エンジン搭載位置や前後重量バランスを最適化している。

撮影=澤田優樹
 photographed by SAWADA YUKI

このコーナーの常連でもあるロッキーオート。それだけ新しいコンセプトの旧車を生み出し続けている証だ。今回はRBスワップ車両のもっとも最先端といえる仕様を紹介しよう。

それがこのRB26ハコスカだ。シャシーは鋼管による溶接補強をメインフレーム、サイドシル内部からフロントフェンダー内側に施す。足回りには、ラック&ピニオンのパワーステアリングシステムごと、33ローレルのものを加工して流用。これにより選べる車高調も選択肢が広がり、エナペタルによるオリジナル品を採用。ハブやブレーキはS14シルビアのものとなる。

エンジンは、RB25をベースとして、RB26のピストンなどで排気量を2.6ℓにスリーブアップ。さらに東名のパーツを使ってヘッドをライトチューン。TWMの6連スロットルバルブをFコンVプロによるコンピュータ制御とした。おそろくパワーは300psは堅いというのが、渡辺社長の見込み。「パワーだけを狙えば、もっとイケますよ。でも、当社の考えはストリート。あくまでも日常扱える領域で速く快適。女の子でも乗れるクルマになります。とはいっても、高速バトルしたら、最新の高性能車でもない限り負けないと思いますよ」

サーキットやゼロヨン仕様にするのは簡単だという渡辺社長。だが、それは普通に乗ることも難しくなってしまう。真夏の渋滞にハマってもエアコンを付けて快適に過ごせ、アクセルを踏めば誰も付いてこれない世界へ連れて行ってくれる。「旧車は欲しいけれど、我慢や故障が……」という人には、うつつのクルマといえるだろう。



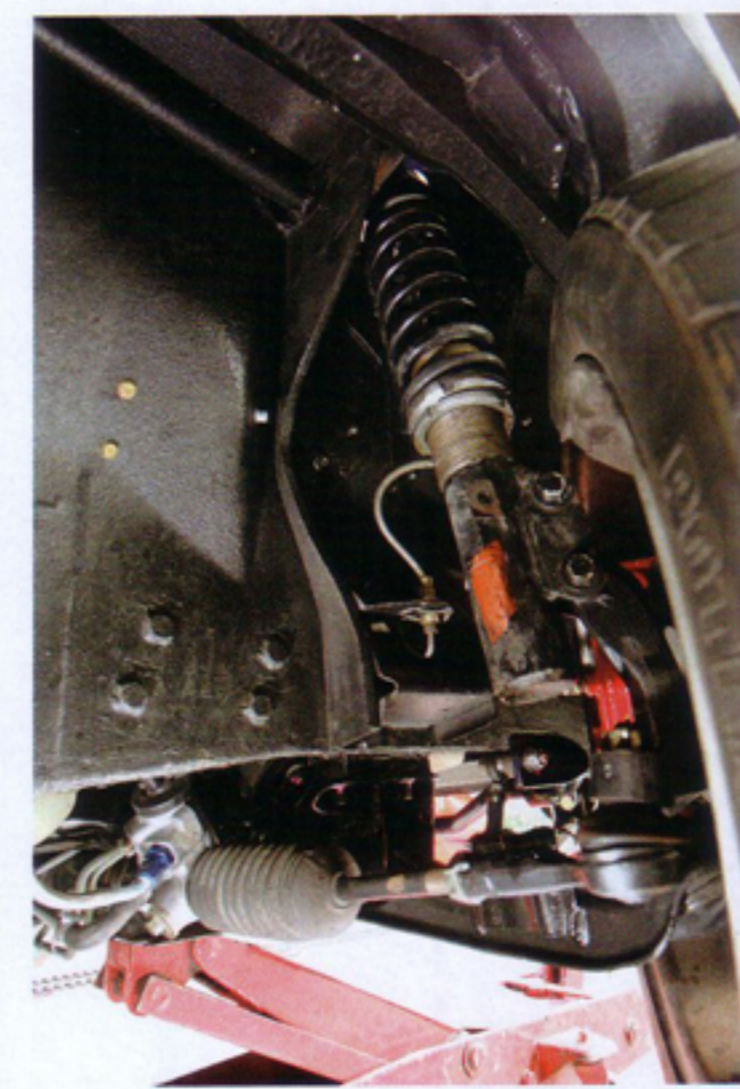
外観はフロントにもオーバーフェンダーが装着されているものの、GT-Rのイメージをほぼ踏襲している。マフラーもあえてデュアル出しにこだわり新規製作している。ホイールはRS7タナベのリムをアルマイト塗装している。



①センターコンソールは上からオーディオ、ETCユニット、エアコン吹き出し口、エンブレム、オートエアコン操作パネルとなっている。純正の雰囲気を崩すことなく、最新技術を投入している。②R33GT-Rのフロントシートを装備したインテリア。強烈な加速やコーナリング性能を手にしているため、シートはホールド性のいいものを選びたい。③左右のドアにはパワーウインドーも装着している。その操作スピードも今のクルマと変わらない。実はこのハコスカには、古いハーネスは一切ない。電気ロスにより操作が遅くなるようなパーツはもちろん、すべての配線を新しく引き直しているのだ。④2.6ℓ仕様に合わせて特注で製作したステンレス製の等長エキゾーストマニホールド。NAでパワートルクを引きだそうとするなら必須アイテム、ともいえる。⑤6連スロットルバルブはファンネル仕上げ。その手前、インターフェンダー側にはAACバルブ。これによりエアコンやパワステ操作時のアイドル回転制御が可能となるのだ。



ロッキーオートの渡辺社長は「ギリギリのチューニングではなく、安心して飛ばせなければ楽しめないと思います。大人の趣味ですから、快適に楽しみたいものですね」と語る。



フロントのメンバーをR33のものをベースにS14用ティン車高調、そしてラック&ピニオン式パワーステアリングを移植している。ロワアーム形状も純正とは別モノだ。

ロッキーオート
 〒444-0865 愛知県岡崎市明大寺街字大塚55-31
 TEL0564-58-7080

今年になって旧車のエンジンスワップを手がけるショップが増えてきたが、やはり安心できる技術と対応を期待するならロッキーオート。速いクルマは好きだけれど、命をかけてまで飛ばしたくない、という渡辺社長の言葉通り、安心してアクセルを踏める仕様してくれる。フルノーマルのGT-Rをここ数年で最も売っているのでは、という側面もある。

SHOP INFORMATION